

# そのときに備える。 ちから 地域の力



真野地区・椿尾の自主防災訓練

## 自主防災組織のススメ

突然、大規模な災害が起ったら

災害は、いつも突然襲ってきます。いざというとき、市や消防署などの防災機関は全力で災害対策を行います。が、現実には、同時多発する火災、電話の不通、交通の阻害などの理由で、活動能力が一時的に低下することが考えられます。

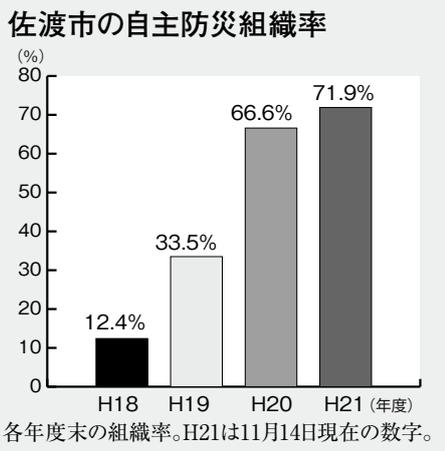
そのような場合、地域のみなさんによる活動が唯一の力となります。被害の拡大を防ぎ、命を守るためにお互いが協力し合い行動することが大切です。

防災活動は、個々に取り組むよりも、組織として活動した方が被害を食い止める力も大きくなります。

このための組織が「自主防災組織」です。

### 高まる組織率

総務省消防庁の調べによると、平成20年4月現在、全国の自主防災組織率



炊き出し訓練



防災用品

(総世帯数に対する自主防災組織のある地域の世帯数の割合)は、71・7%で、新潟県では53・5%となっており、佐渡市でもおおむね71・9% (平成21年11月14日現在) の組織率で、255団体あります。組織率は年々高まっており、市ではさらなる向上を目指しています。

### 設立や活動を支援

市では、自主防災組織の設立や活動を支援しています。

・ 組織設立に関するご相談  
・ 自主防災組織の活動補助 (たとえば防災訓練や炊き出し訓練、学習会などの活動補助)

・ 防災対策に必要な物資の購入補助 (ハンドマイク、携帯用ラジオ、消火用バケツ、ヘルメット、スコップなど)  
詳しくは、市役所防災管財課 (☎6351335) へ、お気軽にご相談・お問い合わせください。

### 日頃から防災のトレーニングを

自主防災組織は、災害発生時には組織による活動を行います。が、いざというときにしっかりと対応できるよう、普段から様々な準備をしておくことが大切です。

- ① 防災に関する学習会や講演会の開催
- ② 地域内での情報伝達体制を確認
- ③ 危険な場所の把握
- ④ 防災用品の整備や点検
- ⑤ 防災訓練の実施や参加

家庭においても、家族間の連絡方法や集合場所の確認、非常持ち出し品の準備、家具の転倒・落下の防止対策など、できることから取り組みましょう。

**「佐渡市自主防災リーダー研修会」が行われました**

11月14日 金井コミュニティセンター

中越大震災を体験した小千谷市の風間久司さん (NPO法人防災サポートおぢや) を講師に、災害時の地域での助け合いについて、研修会が行われました。市内の97団体から約170名が参加し、地域での防災活動の重要性などを再確認しました。